

自治体の課題、現状

- **休日の部活動の地域移行に係る本市の実態**
(管理職及び教員へのアンケート調査より(令和4年10月))
 - ・ 約8割の教員が休日に部活動を行っている。
 - ・ 休日に部活動を行っている約3割の教員が休日の指導を希望しているが、約7割の教員は、休日の指導を希望していない。
- **学校部活動の現状(一般的な課題)**
 - ・ 長時間勤務・大会引率等により教員の負担が大きい。
 - ・ 競技経験の無い教員が指導せざるを得ない場合がある。
 - ・ 教員では専門的な技術指導が難しい場合がある。
 - ・ 生徒数が少なく部活動の数が制限される場合がある。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	64校	全生徒数	28,317人
域内の部活動数	700部(運動部)	実施した地域クラブ数	2クラブ
全体の指導者数	13人	全体の運営スタッフ数	4人
主な運営団体と種目	学区体育協会：バドミントン スポーツ少年団：卓球		
平均的な活動回数	4回程度/月	年間平均参加生徒実数	3年：10人/クラブ 2年：7人/クラブ 1年：6人/クラブ
参加会費	無料	主な活動場所	早稲田中学校 戸坂中学校

地域移行関連の取組、成果

- **モデル事業の実施を通じた取組**
「運営主体の検証等」、「指導員の質等の確保」等
- **取組の成果**
 - ・ 報酬等の支払いや契約上の報告など、運営主体に多くの事務負担が生じている。
 - ・ 「部活動の地域移行」に対する学校や保護者の理解が深まった。
 - ・ 平日の指導をしている部活動顧問教員の負担軽減につながった。
 - ・ 指導者の割り振りが可能な団体に指導を委託したことで、指導者の都合による活動休止が生じないため、より生徒の活動機会が確保できた。
 - ・ 休日の指導者と平日の指導者の連携により、一貫指導が行えた。
- **課題**
 - ・ 報酬等の支払いや契約上の報告など、運営主体の負担を軽減する必要がある。
 - ・ 「地域移行」に向けた取組内容や成果等を市域全体に周知する必要がある。

運営体制図

